

1. 伊丹市営バスの補助の状況

- 営業係数 125 以上の不採算路線について収支不足額の 1 / 2 を補助
 - ・平成 25 年度：1 億 2400 万円
- 市バス特別乗車証：無料乗車証
 - ・高齢者：満 70 歳以上の人（ただし、市内に継続して一年以上居住している人。）
 - ・障害者：身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉手帳所持者
 - ・被爆者等：被爆者健康手帳・戦傷病社手帳所持者
 - ・一般会計から定額負担
 - 高年齢者：5 億 3000 万円 障害者：6500 万円 被爆者等：200 万円 計：5 億 9700 万円
- 合計：7 億 2100 万円

2. 他都市の補助状況

【尼崎市】

- 路線等補助金は 3 億 7000 万円で固定
 - ・他に一般会計から経営健全化団体への転落回避のための経営支援補助金
 - 平成 23 年度：3 億 5000 万円 平成 24 年度：2 億 4000 万円
- 市バス特別乗車証
 - ・平成 22 年 10 月から利用者の一部負担導入：乗車払い方式の場合普通料金の半額
 - 70 歳以上の高齢者
 - 身体障害者手帳、療育手帳、被爆者健康手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者
 - ・高齢者定期乗車料：65 歳以上 1 ヶ月定期 3,000 円
 - ・乗車料金相当額を一般会計から補助 平成 23 年度：5 億円
- 合計：8 億 5000 万円（平成 23 年度）

【高槻市】

- 山間部 3 路線、平坦部 3 路線のみ補助対象路線（平成 20 年度）
（全 24 路線のうち 6 路線のみが黒字路線（平成 20 年度））
 - ・補助対象路線の補助額は前年度の決算値を元に算出
 - ・平成 20 年度：2 億円
- 市営バス乗車証：無料乗車証
 - ・高齢者：70 歳以上の人
 - ・障害者：障がい者手帳を所持し、市内に住所を有し住民登録している人
（市外在住の障がい者に対しても普通券・回数券半額 定期券 35%引き）
 - ・無料乗車証は、高齢者 6 億円、障害者 9000 万円の定額負担 計 6 億 9000 万円
- 合計：8 億 9000 万円（平成 20 年度）

【大阪市】

- 路線の機能や利用形態に応じてタイプ別に分類し、タイプ別に補助
 - [幹線系：35 系統（平成 21 年度）] 全体のネットワークを支える基盤：補助なし
 - [フィーダー系：59 系統（平成 21 年度）]
地下鉄との連携によるネットワークの強化：運営欠損相当額を地下鉄事業から繰り入れ
 - [地域サービス系：30 系統（平成 26 年～）]
市域内の公共交通ネットワーク形成に欠かせない、民間バス事業者並みのコストでも採算性の確保が困難な路線
 - ・「標準的な民間バス事業者が路線を運行してもなお赤字となる額」を補助
- 市営バス乗車証
 - ・敬老優待乗車証：70 歳以上の人 1 年 3,000 円の負担金 1 乗車 50 円
 - ・福祉割引：身体障害者手帳、療育手帳所持者：5 割引
 - ・市営バス乗車証 は、乗車料金相当額を補助